

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和7年2月16日 9時00分～12時30分)

注意事項

- 試験問題の数は120問で解答時間は正味3時間30分である。
- 解答方法は次のとおりである。
 - (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。
 なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

201 近代看護の基礎を築いた人物はどれか。

- アダムズ, J.
Addams, J.
- キュリー, M.
Curie, M.
- ナイチンゲール, F.
Nightingale, F.
- アインシュタイン, A.
Einstein, A.

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	①	②	③	④
			↓	
201	①	②	●	④

答案用紙②の場合、

201	201
①	①
②	②
③	→ ●
④	④

れい
(例 2)

202 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. 明治 32 年(1899 年)
2. 大正 4 年(1915 年)
3. 昭和 23 年(1948 年)
4. 昭和 43 年(1968 年)
5. 平成 13 年(2001 年)

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

202	①	②	③	④	⑤
			↓		
202	①	②	●	④	⑤

答案用紙②の場合、

202	202
①	①
②	②
③	→ ●
④	④
⑤	⑤

れい
(例 3)

203 看護師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

203	①	②	③	④	⑤
			↓		
203	●	②	③	④	●

答案用紙②の場合、

203	203
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	●

- (2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

204 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答： ① ② %

① ②

0 0

1 1

2 2

3 3

4 4

5 5

6 6

7 7

8 8

9 9

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

204 ① (0) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (●)

② (●) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)

答案用紙②の場合、

204

① (0) (●)

(1) (1)

(2) (2)

(3) (3)

(4) (4)

(5) (5)

(6) (6)

(7) (7)

(8) (8)

(●) (9)

1 ^{に ほん れい わ ねん}日本の令和4年(2022年)^{ねん}の^{せいさんねんれいじんこう}生産年齢人口の^{こうせいわりあい}構成割合に^{もっと}最も^{ちか}近いのはどれか。

1. 40 %
2. 50 %
3. 60 %
4. 70 %

2 ^{へいきんじゅみょう}平均寿命^{ただ}で正しいのはどれか。

1. ^{さい}0歳^{へいきん よ めい}の平均余命である。
2. ^{さい}50歳^{へいきん よ めい}の平均余命である。
3. ^{し ぼうしや}死亡者^{へいきんねんれい}の平均年齢である。
4. ^{けんこう}健康な^{さい}60歳^{けんこうじゅみょう}の健康寿命^{おな}と同じである。

3 ^{れい わ がんねん}令和元年(2019年)^{ねん}の^{こくみんけんこう}国民健康・^{えいようちょう さ}栄養調査で、^{うんどうしゅうかん}運動習慣のある^{わりあい}割合が^{もっと}最も^{たか}高いのはどれか。

1. ^{さいだい}20歳代
2. ^{さいだい}40歳代
3. ^{さいだい}60歳代
4. ^{さい い じょう}70歳以上

4 ^{こうれいしや}高齢者の^{てんとう よ ぼう}転倒予防のための^{かんきょう}環境づくりで^{てきせつ}適切なのはどれか。

1. ^{げんかん}玄関に^しマットを敷く。
2. ^{ろう か}廊下^てに手すりをつける。
3. ^{や かん}夜間は^{ろう か}廊下^{しょうめい}の照明^けを消す。
4. ^{い す}椅子に^{い す}キャスターをつける。

5 医療^{いりょう}保険^{ほけん}の給付^{きゅうふ}の対象^{たいしょう}となるのはどれか。

1. 疾病^{しつぺい}の診察^{しんさつ}
2. 人間^{にんげん}ドック
3. 市販薬^{しはんやく}の購入^{こうにゅう}
4. 定期^{ていき}予防接種^{よぼうせつしゅ}

6 マズロー, A. H. の基本的欲求^{きほんてきよつきゅう}の階層^{かいそう}で生理的欲求^{せいりてきよつきゅう}はどれか。
Maslow, A. H.

1. 仲間^{なか}を持ちたい^も。
2. 空腹^{くうふく}を満^みたしたい。
3. 自分^{じぶん}らしくありたい。
4. 他者^{たしや}から称賛^{しょうさん}されたい。

7 胎児循環^{たいじじゅんかん}で酸素^{さんそ}を最も多^{もっと}く含む血液^{おおふく}が流^{けつえき}れているのはどれか。^{なが}

1. 臍静脈^{さいじょうみゃく}
2. 臍動脈^{さいどうみゃく}
3. 肺静脈^{はいじょうみゃく}
4. 肺動脈^{はいどうみゃく}

8 永久歯^{えいきゅうし}が生^はえ始^{はじ}める目安^{めやす}となる年齢^{ねんれい}はどれか。

1. 3歳^{さい}
2. 6歳^{さい}
3. 9歳^{さい}
4. 12歳^{さい}

9 学童^{がくどう}の体格^{たいかく}を評価^{ひょうか}するのに用^{もち}いるのはどれか。

1. Kaup^{カウプ}指数^{しすう}
2. Rohrer^{ローレル}指数^{しすう}
3. Tanner^{タナー}の分類^{ぶんるい}
4. Scammon^{スキャモン}の発育^{はついく}曲線^{きよくせん}

10 令和^{れいわ}4年^{ねん}(2022年^{ねん})の国民生活^{こくみんせいかつ}基礎^き調査^{そちようさ}で全世帯^{ぜんせたい}に占^しめる65歳^{さい}以上^{いじょう}の者^{もの}が在^せる世帯^{たい}の割合^{わりあい}に最^{もっと}も近^{ちか}いのはどれか。

1. 10 %
2. 30 %
3. 50 %
4. 70 %

11 眼球^{がんきゅう}運動^{うんどう}を行^{おこな}う神経^{しんけい}はどれか。

1. 視^し神経^{しんけい}
2. 外^{がいてん}転^{しん}神経^{けい}
3. 顔^{がんめん}面^{しん}神経^{けい}
4. 三^{さん}叉^さ神经^{しんけい}

12 成人^{せいじん}の食道^{しょくどう}の構造^{こうぞう}で正^{ただ}しいのはどれか。

1. 胃^いの幽^{ゆう}門^{もん}につながる。
2. 上^{うえ}1/3が平^{へい}滑^{かつ}筋^{きん}である。
3. 生^{せい}理^り的^{てき}狭^{きょう}窄^{さく}部^ぶ位^いがある。
4. 長^{なが}さは約^{やく}45 cmである。

13 ^{しん でん ず は けい べっ さつ}心電図波形(別冊No. 1)を別に示す。

^{しん しつ ひん ぱく}心室頻拍はどれか。
ventricular tachycardia

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

^{べっ さつ}別 冊

No. 1

14 ^{へい そく せい おう だん かん じゃ}閉塞性黄疸の患者にみられる便の色はどれか。
obstructive jaundice

1. ^{あか}赤
2. ^き黄
3. ^{くろ}黒
4. ^{かい はく}灰 白

15 ^{か すい しゅ げん いん}下垂手の原因はどれか。

1. ^{しゃっこつ しん けい ま ひ}尺骨神経麻痺
2. ^{せいちゅう しん けい ま ひ}正中神経麻痺
3. ^{とうこつ しん けい ま ひ}橈骨神経麻痺
4. ^{ひ こつ しん けい ま ひ}腓骨神経麻痺

16 前立腺肥大症患者の頻尿の原因はどれか。
ぜんりつせん ひ だいしょうかんじゃ ひんにょう げんいん
prostatic hyperplasia

1. 多尿
た にょう
2. 残尿量の増加
ざんにょうりょう ぞう か
3. 膀胱刺激症状
ぼうこう し げきしょうじょう
4. 器質的膀胱容量の減少
き しつてきぼうこうようりょう げんしょう

17 尿中ケトン体が陽性になる疾患はどれか。
にょうちゅう たい ようせい しっかん

1. 痛風
つう ふう
2. 肝硬変
gout
かんこうへん
3. 糖尿病
cirrhosis
とうにょうびょう
4. ネフローゼ症候群
diabetes mellitus
しょうこうぐん
nephrotic syndrome

18 抗癌薬の副作用(有害事象)で骨髓抑制によるものはどれか。
こうがんやく ふく さ よう ゆうがい じ しょう こつずいよくせい

1. 嘔吐
おう と
2. 脱毛
だつ もう
3. 血球減少
けつきゅうげんしょう
4. 神経障害
しんけいしょうがい

19 骨盤底筋訓練が有効な尿失禁はどれか。
こつばんていきんくんれん ゆうこう にょうしっきん

1. 溢流性尿失禁
いっりゅうせいにょうしっきん
overflow incontinence of urine
2. 機能性尿失禁
きのうせいにょうしっきん
functional incontinence of urine
3. 切迫性尿失禁
せつぱくせいにょうしっきん
urge incontinence of urine
4. 腹圧性尿失禁
ふくあつせいにょうしっきん
stress incontinence of urine

20 看護師のボディメカニクスで正しいのはどれか。

1. 動作時の重心は高い位置に置く。
2. 立位では支持基底面を広くとる。
3. 重心線は支持基底面の外側に置く。
4. 足底と床の間の摩擦力を小さくする。

21 病室の湿度で適切なのはどれか。

1. 10 %
2. 30 %
3. 50 %
4. 70 %

22 空気感染(飛沫核感染)の予防策はどれか。

1. 消毒薬の噴霧
2. 病室の陽圧換気
3. N95 マスクの着用
4. ラビング法の手指消毒

23 成人の持続点滴静脈内注射の方法で適切なのはどれか。

1. 点滴筒には 1/5 の薬液を満たす。
2. 刺入部が見えないように固定する。
3. 刺入部は関節などの活動を妨げる部位を避ける。
4. 液面が刺入部から 30 cm の高さになるように輸液バッグをかける。

24 体位^{たい い}ドレナージ^{もくてき}の目的はどれか。

1. 関節拘縮^{かんせつこうしゆく}の予防^{よ ぼう}
2. 痛み^{いた}の軽減^{けいげん}
3. 睡眠^{すいみん}の導入^{どうにゅう}
4. 排痰^{はいたん}の促進^{そくしん}

25 心静止^{しんせいし}の患者^{かんじゃ}に投与^{とう よ}する薬剤^{やくざい}はどれか。

1. ドパミン
2. アトロピン
3. リドカイン
4. アドレナリン

26 神経筋接合部^{しんけいきんせつごう ぶ}にあるイオンチャンネル型受容体^{がたじゅようたい}にアセチルコリン^{けつごう}が結合すると、あるイオン^{きんさいぼうない}が筋細胞内^{りゅうにゅう}に流入する。

このイオンはどれか。

1. 塩化物イオン^{えん か ぶつ}
2. カリウムイオン
3. カルシウムイオン
4. ナトリウムイオン

27 規則的^{き そくてき}な日常生活^{にちじょうせいかつ}を送^{おく}っている成人^{せいじん}で、血中濃度^{けつちゅうのう ど}が1日^{にち}のうち起床時^{きしょうじ}に最も高^{もっと たか}くなるのはどれか。

1. アドレナリン
2. コルチゾール
3. 成長ホルモン^{せいちょう}
4. メラトニン

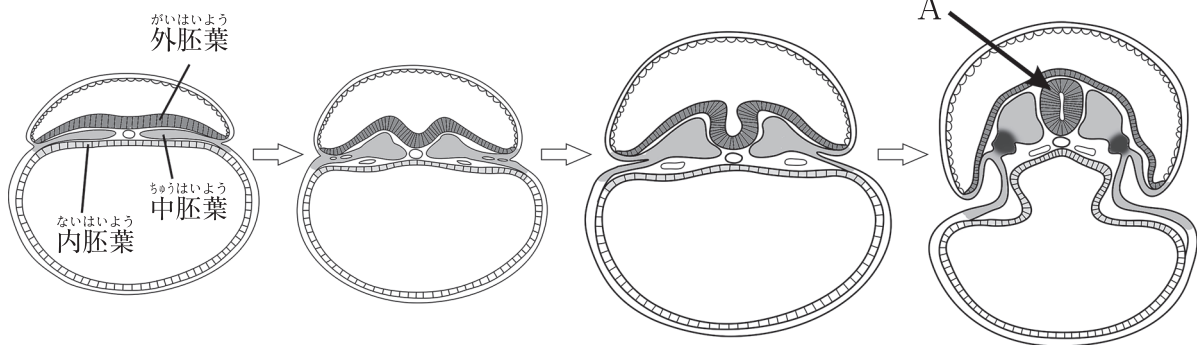
28 胸管^{きょうかん}について正しいのはどれか。^{ただ}

1. 集め^{あつ}たりリンパを左鎖骨^{ひだり さ こつ}下動脈^{か どうみやく}に注^そぐ。
2. 右側^{みぎがわ}の頸^{けい}リンパ本幹^{ほんかん}と合流^{ごうりゅう}する。
3. 毛細^{もうさい}リンパ管網^{かんもう}である。
4. 乳^{にゅう}び槽^{そう}から始^{はじ}まる。

29 嚥下^{えん げ}反射^{はんしや}に伴^{ともな}って起^おこるのはどれか。

1. 甲状^{こうじょうせん}腺^{じょう げ}の上下^{う げ}の動き
2. 肝臓^{かんぞう}の上下^{じょう げ}の動き
3. 声門^{せいもん}の開^{かい}放^{ほう}
4. 舌根^{ぜつこん}の沈^{ちん}下^か

30 胎生^{たいせい}3週^{しゅう}の発^{はつ}生^{せい}過^か程^{てい}にある胚^{はい}子^しの横断^{おうだんめん}面^ずを図^{しめ}に示^す。



A から分^{ぶん}化^かするの^はど^れか。

1. 気^き管^{かん}
2. 食^{しょく}道^{どう}
3. 脊^{せき}髄^{ずい}
4. 大^{だい}動^{どう}脈^{みやく}

31 重症筋無力症に合併する頻度が最も高いのはどれか。
myasthenia gravis

1. 胸腺腫
thymoma
2. 胸膜中皮腫
pleural mesothelioma
3. 甲状腺腫瘍
thyroid tumor
4. 悪性リンパ腫
malignant lymphoma

32 令和2年(2020年)の患者調査における入院医療で正しいのはどれか。

1. 都道府県別の受療率の差はない。
2. 推計患者数が最も多いのは循環器系疾患である。
3. 年齢階級別の受療率が最も高いのは80歳代である。
4. 平均在院日数が最も長いのは精神及び行動の障害である。

33 令和元年(2019年)の国民健康・栄養調査で正しいのはどれか。

1. 20歳以上女性の喫煙率は7.6 %
2. 20歳代女性のやせの割合は10.5 %
3. 20歳以上女性の食塩摂取量の平均値は6.5 g/日
4. 20歳以上女性の野菜摂取量の平均値は400 g/日

34 患者の個別性を理解するために必要な概念はどれか。

1. ダイバーシティ
2. パターナリズム
3. プライマリヘルスケア
4. ソーシャルインクルージョン

35 入院中の A さんは昨晚、体温が 38.8℃であったため解熱剤の坐薬を使用した。
今朝の検温では 37.0℃であった。A さんが「ずっとお風呂に入っていないから背中
中がかゆい」と話したため、看護師が確認すると背部に発汗がみられた。

客観的情報の記録で適切なものはどれか。

1. 背中がかゆい。
2. 背部に発汗がある。
3. 坐薬の効果があつた。
4. 全身清拭を実施する。

36 人体には使用しない消毒薬はどれか。

1. グルタラール
2. ポビドンヨード
3. 塩化ベンザルコニウム
4. クロルヘキシジングルコン酸塩

37 リラクセーションを目的とした腹式呼吸の方法で適切なものはどれか。

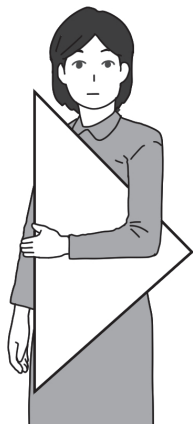
1. 浅い呼吸を繰り返す。
2. 呼吸に意識を集中する。
3. 1 分間に 20 回のペースで行う。
4. 吸気と呼気の時間の比率を 2：1 とする。

38 高濃度の酸素吸入によってCO₂ナルコーシスを生じる危険性が最も高いのはどれか。

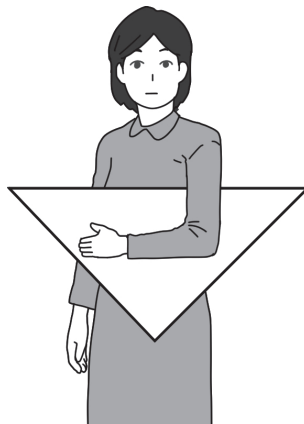
1. 無気肺
atelectasis
2. 肺塞栓症
pulmonary embolism
3. 間質性肺炎
interstitial pneumonia
4. 慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉
chronic obstructive pulmonary disease

- 39 ^{ひだりひじ}左肘を^{こてい}固定するために^{さんかくきん}三角巾を^お置く^い位置を^ち図に^ず示す。
^{てきせつ}適切なのはどれか。

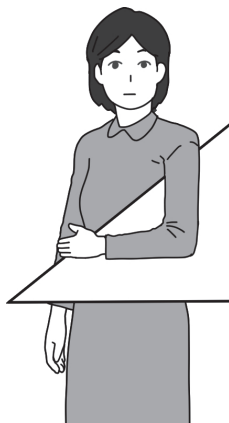
1.



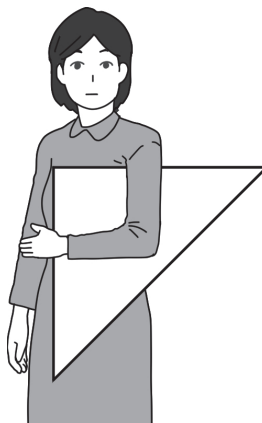
2.



3.



4.



40 ^{しんせんとうけつけつしょう} 新鮮凍結血漿 ^{せつめい} の説明 ^{ただ} で正しいのはどれか。

1. 30～37℃の湯で融解^{ゆうかい}する。
2. 輸血^{ゆけつ}には輸液^{ゆえき}セット^{しやう}を使用する。
3. 融解^{ゆうかい}後は48時間^{じかん}以内に^{ない}使用する^{しやう}。
4. 融解^{ゆうかい}後に^ご直ちに^{ただ}使用^{しやう}しない場合は^{ばあい}20～24℃で^{ほかん}保管する。

41 ^{いち じきゅうめいしよ ち} 一次救命処置〈BLS〉^{かいふくたい い} で回復体位はどれか。

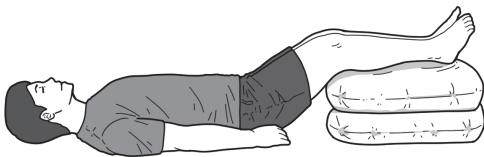
1.



2.



3.



4.



42 ^{じやう ぶしやう か かんない しきやうけん さ} 上部消化管内視鏡検査 ^{てきせつ} で適切なものはどれか。

1. 検査^{けん さ}前日^{ぜんじつ}の就寝^{しゅうしん}前に^{まえ}緩下^{かんげ}薬^{やく}を内服^{ないふく}する。
2. 検査^{けん さ}の12時間^{じ かん}前から^{まえ}禁食^{きんじよく}とする。
3. 検査^{けん さ}時の^じ体位^{たい い}は右側臥位^{うそく が い}とする。
4. 終了^{しゅうりやうちよく}直後^ごから^{いんじよく}飲食^{か の う}は可能である。

43 成年後見制度で正しいのはどれか。

1. 地域生活支援事業の1つとして位置付けられる。
2. 後見の対象者は大体のことを自分で判断できる者である。
3. 審判を受けるための申し立て先は社会福祉協議会である。
4. 法定後見制度とは判断能力の低下に備えあらかじめ後見人を決めておくことである。

44 要介護認定者であっても、訪問看護が医療保険で提供される疾患はどれか。

1. 糖尿病
diabetes mellitus
2. 認知症
dementia
3. 脳梗塞
cerebral infarction
4. 多発性硬化症
multiple sclerosis

45 Aさん(78歳、女性)は認知症があり、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準Iである。1人で暮らしており、かかりつけの医師から処方された複数の内服薬を1日3回服用している。嚥下障害はない。Aさんは「薬がたくさんあって、余る薬もあるのよ」と訪問看護師に話した。

このときの服薬管理で適切なのはどれか。

1. 内服薬を一包化する。
2. 薬剤の形状を変更する。
3. 訪問看護師の訪問時に内服する。
4. 複数の内服薬を1つの箱にまとめて保管する。

46 介護保険制度のケアマネジメントで適切なものはどれか。

1. 地域の課題を抽出する。
2. 地域ケア会議を開催する。
3. 要介護状態区分を判定する。
4. 対象者のモニタリングを行う。

47 急性期の患者に起きる生体反応で正しいのはどれか。

1. エネルギー代謝が低下する。
2. 蛋白質の同化が異化を上回る。
3. カテコールアミンの分泌が亢進する。
4. 抗利尿ホルモン〈ADH〉の分泌が低下する。

48 セルフヘルプグループについて正しいのはどれか。

1. 医療従事者が運営する。
2. 営利を目的にした団体である。
3. 当事者同士の交流による心理的効果がある。
4. 在籍年数の長いメンバーの意見が重視される。

49 終末期癌患者にみられる悪液質の徴候はどれか。

1. 体重減少
2. がん性疼痛
3. リンパ浮腫
4. 末梢神経障害

50 がん患者の家族における社会的苦痛はどれか。

1. 「患者にはどのがん治療が適切なのか」
2. 「なぜ自分の家族はがんに罹患したのか」
3. 「患者のがん治療を代わることはできないのか」
4. 「治療の期間が長くなり、出費が続くと自分の生活はどうなるのか」

51 Aさん(27歳、男性)は、突然の胸痛と呼吸困難があり、救急外来を受診した。

意識は清明。身長 179 cm、体重 63 kg、胸郭は扁平である。20 歳から 1 日 50 本の喫煙をしている。バイタルサインは、体温 36.1℃、呼吸数 22/分、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO₂)96%(room air)である。

胸部 CT(別冊No. 2)を示す。

Aさんの所見から考えられるのはどれか。

1. 酸素吸入が必要である。
2. 抗菌薬投与が必要である。
3. 右肺野の呼吸音は減弱している。
4. 左胸腔内は液体成分で占められている。

別 冊

No. 2

52 臍頭十二指腸切除術においてドレーンを留置する場所で正しいのはどれか。

1. Magendie〈マジヤンディー〉孔
2. Winslow〈ウインスロー〉孔
3. Luschka〈ルシュカ〉孔
4. Monro〈モンロー〉孔

53 自己血糖測定を行う患者への説明で正しいのはどれか。

1. 「皮下の間質液のグルコースを測定します」
2. 「耳たぶから検体を採取します」
3. 「採取部位の消毒は不要です」
4. 「低血糖が分かります」

54 成人の骨髄検査の穿刺部位を図に示す。



ただ正しいのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

55 脊髄造影を受ける患者への説明で正しいのはどれか。

1. 「検査前の食事制限はありません」
2. 「造影剤が硬膜外腔に注入されます」
3. 「検査後は頭痛の有無を確認します」
4. 「検査後はベッドを水平にします」

56 老化に伴う消化器系の変化で正しいのはどれか。

1. 大腸の蠕動運動が低下する。
2. 腭液分泌量が増加する。
3. 唾液分泌量が増加する。
4. 胃粘膜が萎縮する。

57 令和3年度(2021年度)の高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査で、養介護施設従事者等による高齢者虐待について正しいのはどれか。

1. 虐待の種類は心理的虐待が最も多い。
2. 被虐待高齢者は女性が全体の90%を占める。
3. 発生要因は養介護施設従事者等のストレスの問題が最も多い。
4. 虐待件数は養介護施設従事者等による虐待より養護者によるものが多い。

58 医療ニーズが高い要介護者が「通い」「訪問」「泊まり」のサービスを組み合わせ受けられる地域密着型サービスはどれか。

1. 短期入所療養介護
2. 看護小規模多機能型居宅介護
3. 地域密着型特定施設入所者生活介護
4. 認知症対応型共同生活介護〈グループホーム〉

59 ポリファーマシーの説明で正しいのはどれか。

1. 医療者の指示どおりに服薬しない状況
2. 多剤併用による有害な事象が生じている状態
3. 認知機能の低下により服薬管理が困難な状態
4. 処方されている薬の内容を理解していない状況

60 介護医療院の説明で正しいのはどれか。

1. 健康保険法に基づき設置される。
2. 入所対象者は要介護3以上である。
3. 要介護高齢者の長期療養・生活施設である。
4. 看護職員数は入所者100人当たり3人である。

61 最も新しく制定された法律はどれか。

1. 母子保健法
2. 児童虐待の防止等に関する法律
3. 子どもの貧困対策の推進に関する法律
4. 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律

62 一次性の夜尿症で通院中の7歳の女兒。

nocturnal enuresis
保護者への生活のアドバイスで適切なのはどれか。

1. 「1日に飲む水分の量を減らしましょう」
2. 「寝る直前に水分をしっかりと飲ませましょう」
3. 「おねしょをしても叱らないようにしましょう」
4. 「夜中、決めた時間に起こして排尿を促しましょう」

63 生後6～8か月ころの乳児で、親などの特定の人が自分の傍から離れたときに泣

いたり後追いをしたりするのはどれか。

1. 分離不安
2. アニミズム
3. 自我の芽生え
4. アンビバレント

64 A君(6歳、男児)は腹痛のため来院し、ネフローゼ症候群と診断され入院した。
ステロイド治療が開始され、本日が7日目である。尿量の増加がみられ浮腫が軽減
し、血圧は128/80 mmHg、尿蛋白+であった。

A君に説明する必要があるのはどれか。

1. 手指衛生
2. 床上安静
3. 水分摂取の制限
4. 蛋白質の摂取の制限

65 セクシュアリティに関する用語と説明の組合せで正しいのはどれか。

1. 性的指向 ————— 表現する性
2. セックス ————— 性愛の対象
3. ジェンダー ————— 生殖性の性
4. ジェンダーアイデンティティ ————— 自身の性別の認識

66 プレコンセプションケアについて正しいのはどれか。

1. ケアの対象は女性に限定されている。
2. 母体保護法によって規定されている。
3. 国際連合〈UN〉によって提唱されている。
4. 将来の妊娠に向けた健康の保持増進を目的としている。

67 正^{せい}期^き産^{さん}の時^じ期^きのノ^ノン^ンス^スト^トレ^レス^ステ^テス^スト^ト〈NST〉で正^{せい}常^{じょう}な^なのはど^どれ^れか。

1. 20 分^{ぶん}に2 回^{かい}以^い上^{じょう}の一^{いつ}過^か性^{せい}頻^{ひん}脈^{みゃく}が^があ^ある^る。
2. 胎^{たい}児^じ心^{しん}拍^{ぱく}数^{すう}基^き線^{せん}が80 bpm である。
3. 基^き線^{せん}細^{さい}変^{へん}動^{どう}が5 bpm である。
4. 一^{いつ}過^か性^{せい}徐^{じょ}脈^{みゃく}が^があ^ある^る。

68 子^し宮^{きゅう}復^ふ古^こ不^ふ全^{ぜん}の要^{よう}因^{いん}はど^どれ^れか。
subinvolution of the uterus

1. 胎^{たい}児^じ発^{はつ}育^{いく}不^ふ全^{ぜん}〈FGR〉
fetal growth restriction
2. 卵^{らん}膜^{まく}の子^し宮^{きゅう}内^{ない}遺^い残^{ざん}
3. 分^{ぶん}娩^{べん}直^{ちよく}後^ごの授^{じゅ}乳^{にゅう}
4. 膀^{ぼう}胱^{こう}炎^{えん}
cystitis

69 出^{しゅつ}生^{せい}直^{ちよく}後^ごの新^{しん}生^{せい}児^じの計^{けい}測^{そく}方^{ほう}法^{ほう}で正^{ただ}し^しい^いのはど^どれ^れか。

1. 身^{しん}長^{ちよう}は側^{そく}臥^が位^いで計^{けい}測^{そく}す^る。
2. 体^{たい}重^{じゅう}はオムツをつ^けて計^{けい}測^{そく}す^る。
3. 頭^{とう}囲^いは後^{こう}頭^{とう}結^{けつ}節^{せつ}とオトガ^{しゅう}イ^いの周^{けい}囲^{そく}を計^{けい}測^{そく}す^る。
4. 胸^{きょう}囲^いは肩^{けん}甲^{こう}骨^{こつ}直^{ちよく}下^かと左^さ右^{ゆう}の乳^{にゅう}頭^{とう}を^{とお}通^{しゅう}る^い周^{けい}囲^{そく}を計^{けい}測^{そく}す^る。

70 精^{せい}神^{しん}科^か病^{びょう}院^{いん}入^{にゅう}院^{いん}患^{かん}者^{じゃ}の身^{しん}体^{たい}的^{てき}拘^{こう}束^{そく}中^{ちゅう}に発^{はつ}生^{せい}し^しや^やす^すい合^が併^{べい}症^{しょう}はど^どれ^れか。

1. 糖^{とう}尿^{にゅう}病^{びょう}
diabetes mellitus
2. 足^{あし}白^{はく}癬^{せん}
tinea pedis
3. 悪^{あく}性^{せい}症^{しょう}候^{こう}群^{ぐん}
malignant syndrome
4. 肺^{はい}血^{けつ}栓^{せん}塞^{そく}栓^{せん}症^{しょう}
pulmonary thromboembolism

71 知的障害〈精神遅滞〉について正しいのはどれか。
intellectual disability〈mental retardation〉

1. 成人期に発症する。
2. 退行現象の1つである。
3. 統合失調症が原因となる。
4. 知的機能と適応機能が障害される。

72 社会生活技能訓練〈SST〉について正しいのはどれか。

1. 認知行動療法の1つである。
2. 生活リズムの改善が目的である。
3. レクリエーション活動を中心に行う。
4. アウトリーチによる支援が原則である。

73 精神科病院での行動制限で正しいのはどれか。

1. 家族の同意により身体的拘束を決定する。
2. 行動制限最小化委員会は患者の隔離の具体的な内容を決定する。
3. 12時間を超える隔離については、精神保健指定医の判断が必要である。
4. 暴力行為があった場合は、当該患者の精神症状が落ち着くまで身体的拘束をする。

74 看護師の特定行為で正しいのはどれか。

1. 都道府県が指定する研修機関で研修を行う。
2. 手順書は看護師が作成する。
3. 医師法に基づいている。
4. 診療の補助である。

75 しんりょう かん しょ きろく かん ご きろく ふく きてい
診療に関する諸記録に看護記録が含まれることを規定しているのはどれか。

1. い し ほう
医師法
2. い りょうほう し こう き そく
医療法施行規則
3. こ じんじょうほう ほ ご かん ほうりつ
個人情報保護に関する法律
4. ほ けん し じょさん し かん ご し ほう し こう き そく
保健師助産師看護師法施行規則

76 ワーク・ライフ・バランスの取り組みで正しいのはどれか。

1. はたら かた ひょうじゅん か はか と く
働き方の標準化を図る取り組みである。
2. じょせい とつ か と く
女性のライフサイクルに特化した取り組みである。
3. じ こ けいはつ しゃかいかつどう てきおう と く
自己啓発や社会活動にも適応される取り組みである。
4. キャリアを主体的に設計し実現していく取り組みである。

77 ひ なんじょせいかつ しんたいかつどう てい か つづ こうれいしゃ もっと お
避難所生活において、身体活動が低下し続けている高齢者に最も起こりやすいのはどれか。

1. かん せん
感染
2. だつ すい
脱水
3. せん ぼう
せん妄
4. せいかつ ふ かっぱつびょう
生活不活発病
disuse syndrome

78 きゅうせい か のうせいえんしょう さいしょ けつかんがい ゆうそう えんしょう ちゅうしん
急性の化膿性炎症で最初に血管外に遊走し炎症の中心となるのはどれか。

1. けっしょうばん
血小板
2. こうさんきゅう
好酸球
3. こうちゅうきゅう
好中球
4. せつ けつ きゅう
赤血球
5. リンパ球

79 ^{かじょう}過剰に^{せつしゅ}摂取すると^{しけんしほう}試験紙法による^{にょうせんけつけんさ}尿潜血検査が^{ぎいんせい}偽陰性となるのはどれか。

1. ^{よう}葉^{さん}酸
2. ビタミン A
3. ビタミン B₁
4. パントテン^{さん}酸
5. アスコルビン^{さん}酸

80 ^{がた}Ⅱ型アレルギーで^お起こる^{しつかん}疾患はどれか。

1. ^{しきゅうたいじんえん}糸球体腎炎
glomerulonephritis
2. ^{かんせつ}関節リウマチ
rheumatoid arthritis
3. ^{せいひふえん}アトピー性皮膚炎
atopic dermatitis
4. ^{せいけつまくえん}アレルギー性結膜炎
allergic conjunctivitis
5. ^{とくはつせいけつしょうばんげんしょうせい しはんびょう}特発性血小板減少性紫斑病〈ITP〉
idiopathic thrombocytopenic purpura

81 ^{つた}伝えたいことがあるにも^{かか}関わらず、^{まわ}それつが^{ただ}回らず^{はつおん}正しく^{こんなん}発音することが困難に
なるのはどれか。

1. ^{かんごこんなん}喚語困難
2. ^{こうおんしょうがい}構音障害
3. ^{きつおん}吃音
4. ^{さくご}錯語
5. ^{させい}嗟声

82 口^{こう}渴^{かつ}、多^た飲^{いん}、多^た尿^{にょう}を主^{しゅ}訴^そとする患^{かん}者^{じゃ}が、夜^や間^{かん}の排^{はい}尿^{にょう}が頻^{ひん}回^{かい}で不^ふ眠^{みん}を訴^うえている。

1 日^{にち}の尿^{にょう}量^{りょう}は5 L ほどで、尿^{にょう}比^ひ重^{じゅう}は1.005、尿^{にょう}浸^{しん}透^{とう}圧^{あつ}は110 mOsm/kg であった。

この症^{しょう}状^{じょう}の原^{げん}因^{いん}と考^{かん}えら^がれるホ^なル^いモ^{ふん}ン^{びつ}の^き内^{かん}分^{せき}泌^き器^{かん}官^きはど^いれ^かか。

1. 下^か垂^{すい}体^{たい}後^{こう}葉^{よう}
2. 甲^{こう}状^{じょう}腺^{せん}
3. 膀^{すい} 臟^{ぞう}
4. 副^{ふく}甲^{こう}状^{じょう}腺^{せん}
5. 副^{ふく} 腎^{じん}

83 血^{けつ}液^{えき}凝^ぎ固^こ因^{いん}子^しはど^いれ^かか。2 つ選^{えら}べ。

1. トロンボプラスチン
2. エリスロポエチン
3. ウロビリノゲン
4. フィブリノゲン
5. プラスミノゲン

84 同^{どう}種^{しゅ}造^{ぞう}血^{けつ}幹^{かん}細^{さい}胞^{ぼう}移^い植^{しょく}の前^{まえ}に行^{おこ}わ^なれる全^{ぜん}身^{しん}放^{ほう}射^{しゃ}線^{せん}照^{しや}射^{しょう}の目^{もく}的^{てき}はど^いれ^かか。2 つ選^{えら}べ。

1. 感^{かん}染^{せん}の予^よ防^{ぼう}
2. 拒^{きょ}絶^{ぜつ}反^{はん}応^{おう}の防^{ぼう}止^し
3. 抗^{こう}癌^{がん}薬^{やく}の活^{かつ}性^{せい}化^か
4. 腫^{しゅ}瘍^{よう}細^{さい}胞^{ぼう}の根^{こん}絶^{ぜつ}
5. 移^い植^{しょく}片^{へん}对^{たい}宿^{しゅく}主^{しゅ}病^{びょう}〈GVHD〉の予^よ防^{ぼう}
graft-versus-host disease

- 85 肝細胞癌で正しいのはどれか。2つ選べ。
hepatocellular carcinoma
1. 早期から黄疸が出現する。
 2. 原発性肝癌の中で最も頻度が高い。
primary liver cancer
 3. 診断に腹部超音波検査が用いられる。
 4. 特異性の高い腫瘍マーカーはCEAである。
 5. 肝内胆管の細胞が腫瘍化して発生する癌である。

- 86 片側性の末梢性顔面神経麻痺の症状はどれか。2つ選べ。
peripheral facial palsy
1. 眼瞼が下垂する。
 2. 顔面の知覚が鈍い。
 3. 口角が垂れ下がる。
 4. 物が二重に見える。
 5. 額にできるしわに左右差がある。

- 87 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉に基づく障害福祉サービスはどれか。2つ選べ。
1. 訪問介護
 2. 訪問看護
 3. 療養介護
 4. 重度訪問介護
 5. 訪問リハビリテーション

88 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉で、2類感染症に分類されるのはどれか。2つ選べ。

1. ポリオ〈急性灰白髄炎〉
poliomyelitis
2. 細菌性赤痢
shigellosis
3. 狂犬病
rabies
4. 百日咳
pertussis, whooping cough
5. 結核
tuberculosis

89 日常生活自立支援事業のサービス内容で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 住民票の届出
2. 福祉用具の貸与
3. 入院時の身元保証
4. 自家用車の売買契約
5. 銀行口座から現金の引き出し

90 ドパミン受容体が遮断されることで出現する症状はどれか。2つ選べ。

1. 幻聴
2. 口渇
3. 妄想
4. 筋強剛
5. アカシジア

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 91～93 の問いに答えよ。

A さん(73 歳、女性)は 1 人で暮らしており、^{のうこうそく にゅういん}脳梗塞で入院した。A さんは^{ひだりはんしん}左半身に^{ま ひ}麻痺があり、^{にん ち き のうしょうがい}認知機能障害はない。^{てんづえ}4 点杖を使用して^{しやう cerebral infarction}歩行が可能となり、^{は こう か のう}住宅改修をして^{じたく たいいん}自宅に退院した。退院後は、^{たいいん ご こうあつやく こうけっせんやく}降圧薬と抗血栓薬が^{しよほう}処方され、^{ふくやくかん り}服薬管理と^{けんこうかん}健康管理の目的で^{り もくてき ほうもんかん ご しゅう かい}訪問看護を週 1 回、^{ちよう り か ものだいこう もくてき ほうもんかい ご しゅう かい り}調理と買い物代行の目的で訪問介護を週 1 回利用している。A さんは「^{きのう たいいん はじ}昨日、退院して初めて^{ひとり か もの い}1 人で買い物に行ったら^{ころ}転びそうになって、^{よこ}横にいた人^{ひと ささ}に支えてもらったんです」と^{ほうもんかん ご し はな}訪問看護師に話した。

91 このとき、^{ほうもんかん ご し てんとう よ ぼう}訪問看護師が^{しゅうしゅう}転倒予防のために^{じょうほう}収集する^{もつと}情報として最も^{できせつ}適切なのはどれか。

1. ^{ふくやく じょうきょう}服薬の状況
2. ^{しょく じ せつしゅりょう}食事の摂取量
3. ^{みぎじょう か し きんりょく}右上下肢の筋力
4. ^{た しゃ こうりゅう ひん ど}他者との交流の頻度

92 ^{たいいん}退院から 2 か月後、A さんは^{げつ ご}杖歩行が^{つえ ほ こう あんてい}安定し、^{じ かん}時間をかけて^{ちよう り か}調理や^{もの じ}買い物を自分で行うようになった。^{ぶん おこな}看護師が^{かん ご し ほうもん}訪問したとき、A さんから「^{さいきん}最近トイレに^{ま あ}間に合わずに^{じょう も}尿が漏れてしまうことがあるんです。^は恥ずかしいので^{はいせつ}排泄だけは^{ひと}人の世話に^{せ わ}なりたくないんです。^{よ ほうほう}良い方法があれば^{おし}教えてください」と^{そうだん}相談された。

このときの訪問看護師の A さんへの助言で最も適切なのはどれか。

1. 「^{がた}パンツ型オムツを^{つか}使ってみましょう」
2. 「^{つか}ポータブルトイレを^{つか}使ってみましょう」
3. 「^{ゆうしょく ご すいぶん と す}夕食後は水分を摂り過ぎないようにしましょう」
4. 「^{じ ぶん はいにようかんかく あ}ご自分の^い排尿間隔に合わせてトイレに行きましょう」

93 退院から3か月後、Aさんはテレビを見て過ごす時間が多くなった。「買い物や調理が面倒になって、同じものばかり作っています」と言い「退院したころは毎日排便があったのに、最近便秘気味ですっきりしないんです」と訴えた。

訪問看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 食事内容を見直す。
2. 腹部の温罨法を勧める。
3. 市販の浣腸液の使用を勧める。
4. 主治医に緩下薬の処方相談をする。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 94～96 の問いに答えよ。

A さん(56 歳、女性、主婦)は、食後に冷汗を伴う腹痛があり外来を受診した。腹部超音波検査の結果、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術の目的で入院した。

看護師は手術オリエンテーションで、術後の入院期間は 2 日と説明した。A さんは、同じ手術を受けた妹が合併症で 3 週間以上食事もできなかったのも、自分も同じ合併症を発症するかもしれないと心配そうに話した。

94 A さんの妹が発症した合併症はどれか。

1. 肺炎
pneumonia
たんじゅうろう
2. 胆汁瘻
3. 皮下気腫
ひ か きしゅ
4. 深部静脈血栓症
しん ぶ じょうみやくけっせんしゅう
deep vein thrombosis

95 A さんは、全身麻酔下で気腹法による腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けている。

手術中の A さんに最も生じやすいのはどれか。

1. 体温の上昇
たいおん じょうしゅう
2. 心拍出量の上昇
しんはくしゅつりょう じょうしゅう
3. 腹腔内圧の低下
ふくくうないあつ てい か
4. 動脈血二酸化炭素分圧〈PaCO₂〉の上昇
どうみやくけつ に さん か たん そ ぶんあつ じょうしゅう

96 Aさんの術^{じゅつ}後^ごの経^{けい}過^かは良^{りょう}好^{こう}で、退^{たい}院^{いん}した。その後^ごの外^{がい}来^{らい}受^{じゅ}診^{しん}で「下^げ痢^りをすること
が^{おお}多^{おほ}い^{おほ}です」とい^うう^うた^う訴^うえ^えが^あっ^た。

下^げ痢^りを^よ予^ぼ防^うする^ため^めに^ひ控^かえる^もの^ので^{ただ}正^{ただ}しい^のは^どれ^か。

1. 塩^{えん} 分^{ぶん}
2. 脂^し 質^{しつ}
3. 糖^{とう} 質^{しつ}
4. 蛋^{たん}白^{ぱく}質^{しつ}

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 97～99 の問いに答えよ。

A さん(50 歳、女性、会社員)は、職場で激しい頭痛を訴えて倒れ、意識を失って、
救急搬送された。救命救急センター到着時のバイタルサインは、体温 36.7℃、呼吸
数 20/分、脈拍 88/分、血圧 168/88 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉98 %
(room air)であった。閉眼していたので、大声で話しかけると開眼したが、すぐに閉
眼して眠り込んでしまう。

97 A さんの意識レベルは、ジャパン・コーマ・スケール〈JCS〉で評価するとどれ
か。

1. II-10
2. II-20
3. III-100
4. III-200

98 A さんは、CT 検査の結果、脳動脈瘤の破裂によるくも膜下出血と診断され、ク
リッピング術を受けて ICU に入室した。入室時のバイタルサインは、体温 36.8℃、
呼吸数 22/分、脈拍 78/分、血圧 126/60 mmHg、フェイスマスクによる酸素投与
下(5 L/分)で経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉98 %であった。3 時間後、A さんは
開眼して「頭が痛い」と訴えた。バイタルサインに変化はなく、脳槽ドレーンからは
淡血性の排液がみられている。

このときの看護師の判断で正しいのはどれか。

1. 端座位にする。
2. 枕を高くする。
3. 鎮痛薬の適応である。
4. ドレーンをクランプする。

99 A さんの回復は順調で、後遺症なく退院した。退院 1 か月後の外来で、A さんに生活状況を聞くと、会話に対する反応は鈍く「この間、尿を漏らしてしまいました」と話した。家族は「最近物忘れが激しく、歩くのも遅くなりました」と話した。看護師が A さんに書類を渡すと、スムーズに受け取り、きれいな文字で名前を書いた。家族は「入院前と変わらない字で書けています」と言った。

A さんに起こっている可能性が高いのはどれか。

1. 脳血管攣縮
のうけっかんれんしゅく
2. 正常圧水頭症
せいじょうあつすいとうしょう
normal pressure hydrocephalus
3. 脳動脈瘤の破裂
のうどうみゃくりゅう はれつ
cerebral aneurysm
4. Parkinson〈パーキンソン〉病
Parkinson disease

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 100～102 の問いに答えよ。

A さん(87 歳、女性)は 1 人で暮らしている。難聴のため補聴器を使用している。
自宅で転倒して痛みで起き上がれなくなり、救急搬送され入院した。搬送先の病院で
みぎだいたいこつけい ぶ こっせつ しんだん ぜんしん ま すい か じんこうこつとう ち かんじゅつ う じゅつ ご ぜんわん ぶ
右大腿骨頸部骨折と診断され、全身麻酔下で人工骨頭置換術を受けた。術後は前腕部
femoral neck fracture
てんてきじょうみやくないちゅうしゃ みぎだいたい そう ぶ きゅういんしき いっぱんそうにゅう
に点滴静脈内注射と右大腿の創部に吸引式ドレーンが一本挿入されている。
しゅじゅつちよく ご けん さ しょうけん せつけつきゅう まん はつけつきゅう そうたんぱく
手術直後の検査所見：赤血球 410 万/ μ L、白血球 7800/ μ L、Hb 12.0 g/dL、総蛋白
6.5 g/dL、アルブミン 4.0 g/dL、尿素窒素 20 mg/dL、Na
145 mEq/L、K 3.8 mEq/L。
じゅつ ご しゅけつりゅう しょうりゅう そう ぶ つう たい ひ せいこうえんしょうやく ざ やく
術後のドレーン出血量は少量である。創部痛に対して非ステロイド性抗炎症薬の坐薬
ないふく しょうほう しゅじゅつとうじつ じ ざ やく しょう
と内服が処方され、手術当日の 21 時に坐薬を使用した。

100 術後 1 日。朝 6 時の A さんのバイタルサインは、体温 36.5℃、呼吸数 18/分、
みやくはく ふん けつあつ けい ひ てきどうみやくけつさん そ ほう わ ど
脈拍 64/分、血圧 120/82 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉97 % (room air)
であった。ぼうこうりゅう ち そうにゅう や かん にょう りゅうしゅつ りょうこう
膀胱留置カテーテルが挿入されていて夜間の尿の流出は良好であった。
ちようぜんどうおん かくにん ちようしよく かい し しょく じ じ かの
腸蠕動音が確認できたため朝食が開始された。食事時に A さんが顔をしかめてい
たため、や きん かん ご し ちんつうやく ないふく すす いた
たため、夜勤の看護師が鎮痛薬の内服を勧めたが A さんは「痛みはそれほど強くな
い」と言った。ちようしよく ご てんてきじょうみやくないちゅうしゃ きゅういんしき ばつきよ
朝食後に点滴静脈内注射と吸引式ドレーンが抜去された。

こ ぜん じ かん ご し かんさつこうもく ゆうせん ど たか
午前 9 時の看護師の観察項目で優先度が高いのはどれか。

1. い し き
意識レベル
2. さん そ ほう わ ど
酸素飽和度
3. そう ぶ つう
創部痛
4. けつ あつ
血 圧
5. にょう りょう
尿 量

101 術後1日。午前中に看護師がAさんのバイタルサインを測定しているときは眠っていた。昼食後に看護師が訪室すると、Aさんは多弁で、落ち着かない様子がみられた。

看護師のAさんへの対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 医師に抗不安薬の処方を依頼する。
2. ベッド上で安静に過ごしてもらう。
3. 膀胱留置カテーテルを抜去する。
4. ベッド周囲をカーテンで囲む。
5. 補聴器の装着を確認する。

102 術後2週。Aさんは杖歩行の練習をしている。見守りをする看護師に「早く家に帰りたいけど、また転びそうで怖いし、元のように歩ける自信がない」と話した。

Aさんへの声かけで最も適切なのはどれか。

1. 「リハビリテーションの回数をもっと増やしましょう」
2. 「カルシウムを多く含んだ食品を摂りましょう」
3. 「少しずつ歩けるようになってきていますよ」
4. 「退院先は介護老人保健施設にしましょう」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 103～105 の問いに答えよ。

A さん(76 歳、男性)は妻(72 歳)と 2 人で暮らしている。ベッドからトイレに起きようとしたところ右上下肢にしびれと脱力感があり、動けなくなったため救急車で来院した。頭部 CT で左中脳動脈領域のラクナ梗塞と診断され、緊急入院し血栓溶解療法が施行された。

既往歴：53 歳で高血圧症と診断され内服治療を継続している。

生活歴：60 歳まで食品会社に勤務していた。

入院時の身体所見：身長 168 cm、体重 65 kg、体温 37.2℃、呼吸数 20/分、脈拍 78/分、整、血圧 210/88 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度 $\langle \text{SpO}_2 \rangle$ 97 % (room air)、右上下肢麻痺を認めた。

入院時の検査所見：白血球 3,600/ μL 、赤血球 420 万/ μL 、Hb 11.2 g/dL、総蛋白 6.2 g/dL、アルブミン 3.6 g/dL、空腹時血糖 108 mg/dL、CRP 0.1 mg/dL。

103 入院 2 日、A さんは全身状態が落ち着いてきたため、主治医から離床開始の指示があった。

A さんの離床開始時の観察項目で優先度が高いのはどれか。

1. 血 圧
2. 見当識障害
3. 下肢の知覚障害
4. 夜間の睡眠状況

104 入院5日。Aさんは座位訓練の後、車椅子に座って食事を摂取することになった。食事動作は自助具を使用すれば少しずつ自分で摂取できるようになったが、時間が経過すると上体が右側に傾くため、体幹の右側にクッションを入れて食事をしている。

Aさんが安定して食事ができるための援助で適切なものはどれか。

1. 座位時間を徐々に短縮する。
2. テーブルの高さを高くする。
3. 背部にタオルを入れ軽く前傾姿勢にする。
4. Aさん自身で左側に重心を傾けるよう指導する。

105 入院2週、Aさんは自宅への退院を目指し、回復期リハビリテーション病棟へ転棟することになった。Aさんは、座位姿勢での右側への傾きが徐々に改善され、食事や作業療法の時間は車椅子での座位保持が可能になってきた。Aさんは看護師の介助で車椅子に移乗が可能となり、車椅子でトイレに移動できるようになった。看護師はAさんのADLの拡大を目標に、看護計画を修正することにした。障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準における評価で、Aさんの生活状況はどれか。

1. ランク J
2. ランク A
3. ランク B
4. ランク C

つぎ ぶん よ
次の文を読み 106～108 の問いに答えよ。

A ちゃん(1 歳 4 か月、女児)は、午前 9 時ころ、ポータブル型のゲーム機用の直径 10 mm のボタン型電池を誤飲し、午前 10 時に両親に付き添われ外来を受診した。

看護師が A ちゃんを観察すると、機嫌は良くバイタルサインも安定していた。A ちゃんに成長や発達の遅れはない。

待ち室には A ちゃん他に 3 人の患児が診察を待っていた。それぞれは以下のとおりである。

B 君(1 歳 3 か月、男児)：今朝、カーペットの敷かれたフロアで歩行中に転倒。バイタルサインは正常、顔色良好。母親に抱っこされて遊んでいる。

C ちゃん(3 歳、女児)：体温 39.5℃、呼吸数 23/分、脈拍 100/分、鼻汁多量、機嫌良好、顔色良好。

D 君(9 か月、男児)：自宅で痙攣したため受診。初めての痙攣で、5 分間継続したが、受診時には止まっている。待ち室にて 3 回の嘔吐。体温 38.7℃。声かけで開眼するが、すぐにうとうとする。

106 このときの看護師のトリアージで診察を受ける優先度が高いのはどれか。

1. A ちゃん
2. B 君
3. C ちゃん
4. D 君

107 A ちゃんは、腹部エックス線撮影で胃内にボタン型電池が認められ、全身麻酔下での内視鏡でボタン型電池を摘出し、消化管粘膜に大きな問題はなかった。摘出後、小児病棟に1泊入院した。小児病棟に入院1時間後、看護師が訪室するとAちゃんは覚醒しており、囟(別冊No. 3)のように「ママー、ママー」と言いながら大声で泣き、ベッドから両親の方に手を伸ばしている。両親は戸惑った様子で、ベッドの傍に立っている。

このときの看護師による安全な療養環境の整備で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. ぬいぐるみを取り除く。
2. 毛布をベッド柵にかける。
3. 柵を半分の高さまで降ろす。
4. 点滴ルート of 長さを延長する。
5. 点滴スタンドをAちゃんの手が届くところまで近づける。

別冊

No. 3

108 翌日、Aちゃんは退院することになった。看護師は、Aちゃんの誤飲予防のための教育的支援を両親に行うことにした。

両親に伝える内容で最も適切なのはどれか。

1. Aちゃんから目を離さないこと
2. Aちゃんにやってはいけないことを教えること
3. 家の中でのAちゃんの行動範囲を柵で区切ること
4. 大きさが4cmよりも小さいものはAちゃんの手が届かないところに置くこと

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 109～111 の問いに答えよ。

A さん(41 歳、初妊婦、会社員)は夫(42 歳、会社員)と 2 人で暮らしている。身長は 158 cm、非妊時体重 55 kg である。A さんは妊娠 16 週 3 日に妊婦健康診査を受診し順調な経過と診断された。妊婦健康診査後「夫から、高齢妊娠だから安静にするよう言われ、夫が家事をしてくれています。妊娠前はバスケットボールを週に 3 回、毎日夕方に夫とウォーキングをしていました。今は仕事に行く以外は、家でなるべく動かないようにしています」と A さんが看護師に話した。

109 A さんへの活動に関する助言で適切なのはどれか。

1. 「仕事は辞めましょう」
2. 「ウォーキングを再開しましょう」
3. 「週 1 回バスケットボールをやりましょう」
4. 「ご家族の言うように安静にしましょう」

110 A さんは妊娠 24 週 0 日に妊婦健康診査を受けた。体重 60 kg(妊娠 20 週の体重は 58 kg)。血圧 138/88 mmHg、Hb 10.1 g/dL、Ht 31 %、尿蛋白(一)、尿糖(±)であった。A さんは「足が重い気がします」と話すが、脛骨上の圧痕は認めなかった。

このときのアセスメントで適切なのはどれか。

1. 体重増加が過剰である。
2. 妊娠性貧血である。
anemia of pregnancy
3. 高血圧である。
4. 浮腫がある。

111 Aさんは夫^{おつと}に付き添^つわれ、妊^そ娠^{にんしん} 35 週 4 日^{しゅうよつ か}に妊^{にん}婦^ぶ健^{けん}康^{こう}診^{しん}査^さを受^うけた。妊^{にん}婦^ぶ健^{けん}康^{こう}診^{しん}査^さでは、体^{たい}重^{じゅう} 65 kg、血^{けつ}圧^{あつ} 126/76 mmHg。尿^{にょう}蛋^{たん}白^{ぱく} (－)、尿^{にょう}糖^{とう} (－)。浮^ふ腫^{しゅ} (±)。子^し宮^{きゅうてい}底^{いちよう}長^{ちよう} 30 cm、腹^{ふく}囲^い 88 cm で異^い常^{じょう}を認^みめなかつた。その後^ご、A さんは看^{かん}護^ご師^しに「夕^{ゆう}方^{がた}になると足^{あし}がだるくなり、膝^{ひざ}の裏^{うら}を見^みたら、血^{けつ}管^{かん}が膨^{ふく}らんで、青^{あお}く浮^うき出^でていました」と言^いう。

A さんへの指^し導^{どう}で適^{てき}切^{せつ}なのはどれか。

1. 「体^{たい}重^{じゅう}を減^へらしましょう」
2. 「腹^{ふく}帯^{たい}を強^{つよ}く巻^まきましょう」
3. 「できるだけ立^たっていきましょう」
4. 「弾^{だん}性^{せい}ストッキングを着^{ちやく}用^{よう}しましょう」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。

A さん(36 歳、経産婦)は、夫(35 歳)、男児(3 歳)と 3 人で暮らしている。妊娠、
ぶんべんけい か じゅんちよう にんしん しゅういつ か じょ じ けいちぶんべん しゅっさん ぶん ごと
分娩経過は順調で、妊娠 39 週 5 日で 3,200 g の女児を経産分娩で出産した。1 分後
の Apgar〈アプガー〉スコア 9 点、5 分後の Apgar〈アプガー〉スコア 10 点であった。
さんじょく にち しきゅうてい さい か おう し こう どりようこう お ろ せきしよく ひとり
産褥 1 日、A さんの子宮底は臍下 2 横指、硬度良好、悪露は赤色であった。「1 人
め しゅっさん ごと なか いた ねむ かん ごと し はな
目の出産後よりもお腹が痛くて眠れませんでした」と看護師に話す。

112 このときの A さんへの説明で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 「痛み止めは使用できません」
2. 「授乳をすると痛みが和らぎます」
3. 「経産婦のほうが痛みを強く感じます」
4. 「産後 5 日くらいまで痛みは続きます」
5. 「子宮が元の大きさに戻るための痛みです」

113 産褥 3 日、乳房は緊満、乳管開通は左右とも 5、6 本、射乳がある。1 日 8 回授
さんじょくみつ か にゅうぼう きんまん にゅうかんかいつう さ ゆう ぼん しゃにゅう にち かいじゅ
乳をしている。児の体重は 3,080 g で前日よりも 20 g 減少している。「母乳で育て
にゅう じ たいじゅう ぜんじつ げんしょう ぼ にゅう そだ
たいと思っていたけど、乳房が張って授乳がうまくできないです」と話す。

このときの A さんへの説明で適切なのはどれか。

1. 「水分を多めに摂りましょう」
2. 「時間を決めて授乳をしましょう」
3. 「乳房の張りは 2 週間程度続きます」
4. 「授乳の前に乳輪部のマッサージをしましょう」

114 日齢^{にち れい} 4、A さんの児^じの体重^{たい じゅう}は 3,100 g。体温^{たい おん} 37.1 ℃、呼吸数^{こ きゅうすう} 48/分、心拍数^{ふん しん ぱくすう} 130/分。経皮^{ふん けい ひ}ビリルビン 10.0 mg/dL。排尿^{はい しょう} 9 回/日、排便^{はい べん} 8 回/日。

児^じのアセスメントで正しいのはどれか。

1. 経皮^{けい ひ}ビリルビン値^ちは光線療法^{こうせんりょうほう}が必要な値^{ひつよう あたい}である。
2. 生理的^{せい り}体重減少^{てきたいじゅうげんしょう}の範囲^{はん い}を超^こえている。
3. バイタルサインは正常^{せいじょう}である。
4. 排尿回数^{はい しょうかいすう}が少^{すく}ない。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 115～117 の問いに答えよ。

A さん(30 歳、男性)は統合失調症で内服治療をしていた。最近、部屋にこもり、
精神科受診以外は外出しなくなった。ある日、母親が A さんの部屋で大量の薬を見
つけ、確認すると「薬は飲みたくない」と話した。受診に付き添った母親は「A は昼間
に寝ていて、夜に窓を開けて、隣の家に向かって『悪口を言うな』『監視するな』と大声
で怒鳴る」と主治医に話した。A さんと母親の強い希望があり、精神科病棟に入院す
ることになり、薬物療法が開始された。

入院 3 日、夜間の巡視のたびに A さんは起きていて「隣の人が自分を監視してい
る」『皆が悪口を言っている』と小さな声で看護師に話した。日中はホールで眠そうに
していることもあり、レクリエーションには「疲れた」と言って参加しない。他の患者
と話すことはあるがトラブルはない。歯磨きや身だしなみは、声をかけると行う。

115 A さんのセルフケアの観察項目で優先度が高いのはどれか。

1. 孤独と付き合いのバランス
2. 活動と休息のバランス
3. 安全を保つ能力
4. 個人衛生

116 入院 14 日、A さんは他の患者や看護師と話をする機会が増えた。「B 看護師に私
の悪口を言うのをやめるように言ってほしい」と訴え、受け持ち看護師が話を聞いて
いると興奮して声が大きくなることがあった。

受け持ち看護師の A さんへの対応で適切なのはどれか。

1. 「悪口を言うのは B 看護師ですか」
2. 「悪いことは考えないほうがいいですよ」
3. 「B 看護師は A さんの悪口は言っていない」
4. 「悪口を言われると A さんはどんな気持ちになりますか」

117 入院^{にゅういん} 1 か月^{げつ}、A さんは夜間^{やかん}、眠れる^{ねむ}ようになり、妄想^{もうそう}や幻聴^{げんちよう}の症状^{しょうじよう}が軽減^{けいげん}した。
看護師^{かんごし}が A さんに薬^{くすり}を自己^じ中断^{ちゅうだん}した理由^{りゆう}を尋ね^{たず}たところ「いろいろとストレスが溜^た
まると何^{なに}もしたくなくなり、薬^{くすり}を飲む^のことも面倒^{めんどう}でした。今回^{こんかい}の入院^{にゅういん}で飲み続^{つづ}けた
ら嫌^{いや}な症状^{しょうじよう}もなくなってきました。薬^{くすり}は飲^のんだほうがよいですね。これからはスト
レス^{かん}を感じ^のても乗^こり越えていけそうです」と話^{はな}した。

A さんの考^{かんが}えに当^あてはまる概^{がい}念^{ねん}はどれか。

1. カタルシス
2. レジリエンス
3. コンコーダンス
4. コンプライアンス

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 118～120 の問いに答えよ。

A さん(64 歳、男性、外国籍)は、1 年前に日本に移住し、娘(36 歳、会社員)と娘
の夫(42 歳、会社員、日本人)と 3 人家族である。娘の夫は海外に長期出張中で、娘
は日本語での簡単な日常会話はできるが、A さんはほとんど日本語が理解できない。

A さんは、2 か月前から時々腰痛があり、市販薬で様子を見ていたが、徐々に腰
痛が強くなり、娘に付き添われて受診した。検査の結果、肺癌と診断され、胸膜と腰
椎への転移が見つかり、疼痛コントロールの目的で入院した。
lung cancer

118 病状について医師から説明を受けることになったが、娘から「夫はしばらく帰っ
てこないし、私は難しいことは分からないのでどうしたらいいですか」と質問を受
けた。

かん ご し じょげん てきせつ
看護師の助言で適切なのはどれか。

1. 「ご主人に帰国してもらいましょう」
2. 「医療通訳の方に同席してもらいましょう」
3. 「娘さんから A さんにお話しされてはいかがですか」
4. 「通訳できる知人を探して、同席してもらいましょう」

119 入院後、医療従事者との日常会話は、電子端末による翻訳を活用している。疼痛
に対しては、モルヒネ徐放製剤の内服が開始され、レスキュードーズとして、モル
ヒネ速放製剤の内服が指示されている。激しい腰痛が 1 日に数回あるが、レス
キュードーズを使いたくないと話し痛みを我慢している。

かん ご し たいおう ゆうせん ど たか
看護師の対応で優先度が高いのはどれか。

1. レスキュードーズを無理に使う必要はないことを伝える。
2. レスキュードーズを使いたくない理由を確認する。
3. レスキュードーズの使い方を説明する。
4. 疼痛スケールの記載を勧める。

120 入院^{にゅういん} 8 日、疼痛^{ようか}がコントロールされてきた A さんは「家に帰^{かえ}りたい」と希望^{きぼう}しているが、娘^{むすめ}は「仕事^{しごと}もあるし、もう少し病院^{びょういん}にいてほしい」と話^{はな}している。そこで、看護^{かんご}師^しの提案^{ていあん}により A さんのアドバンス・ケア・プランニング^{おこな}が行^{おこな}われることになった。

A さんのアドバンス・ケア・プランニング^{てきせつ}で適切^{てきせつ}なのはどれか。

1. 退院調整看護^{たいいんちようせいかんご}師^しに退院^{たいいん}の手続^{てつづ}きを進^{すす}めてもらう。
2. A さんの発言^{はつげん}内容^{ないよう}の記録^{きろく}は施設^{しせつ}外^{がい}の人^{ひと}には提供^{ていきよう}しない。
3. 娘^{むすめ}の思い^{おも}や不安^{ふあん}に思^{おも}っていること^{こと}の解決^{かいけつ}が優先^{ゆうせん}される。
4. A さんが大切^{たいせつ}にしていること^{こと}や生きがい^{いきがい}について話^{はな}してもらう。

